

開催日時：2003 年 8 月 25 日 (月) 15 : 30 ~ 18 : 30

場 所：大津プリンスホテル 2 階 コンベンションホール「淡海 6」

参加者数：委員 11 名、河川管理者 16 名、一般傍聴者 98 名

1 決定事項

- ・ 本日の議論をもとに、川那部部会長、江頭部会長代理、中村リーダーにて、琵琶湖部会としてのとりまとめ案を修正し、第 24 回委員会(9/5)にて報告する。
- ・ 各委員は、修正意見等があれば早めに文案を提出する。

2 審議の概要

委員会、他部会の開催状況等の報告

資料 1「委員会および各部会の状況報告(提言とりまとめ以降)」を用いて、各部会の状況について説明が行われた。

部会意見とりまとめに向けた意見交換

資料 2-3「琵琶湖部会とりまとめ素案」をもとに中村リーダーより説明が行われ、その後意見交換が行われた。主な意見は、次のとおり。

- ・ 環境の調査について、「河川水、伏流水、地下水、蒸発散水の量的なことについて、継続的にモニタリングしておく必要がある」との記述が欲しい。
- ・ 治水技術に関する記述における「大きな社会的チャレンジ」の具体的なイメージを教えてください。(河川管理者)

治水部会と合同で検討する必要があるが、ダムに頼らない治水対策の可能性について、周辺自治体との調整を行いながら幅広い検討をお願いしたいとの意味である。

- ・ このままで整備計画の内容が住民に理解されるか疑問。住民参加や周辺自治体との連携の必要性を本当に伝えるためには、目標の設置が必要である。
- ・ 資料2-3 とりまとめ素案の p7 の 8 行目に、「規模を現行計画のままとした『ダムの建設』を前提とし」との記述があるが、現在、治水上効果があることを示した段階であり、今後、代替案を含めて検討が必要である。現行計画のままのダム建設を前提としているわけではない。(河川管理者)

一般傍聴者からの意見聴取

一般傍聴者 3 名から、「予防原則の意味をお教えいただきたい」「4~8 月に基準水位 0 cm 前後を目安に水位を維持することが魚類の産卵にとってのぞましい等の記述は、治水上問題があるのではないか」「新聞で報じられた府営水道などの撤退で、利水上、丹生ダムを作る必要性は乏しくなったことをご認識いただきたい」、「流域委員会の提言のダムに関する記述については、委員会の意見としてしっかり意見書の中に位置付けて欲しい」等の意見が出された。また、河川管理者より、新聞記事について、利水者に確認したところ、「まだ、最終決定はしていない」と聞いているとの説明があった。

その他

スケジュール等について話し合わせ、上記「1.決定事項」の通り決定がなされた。

以上

このお知らせは委員の皆様にご会議の結果を迅速にお知らせするため、庶務から発信させて頂くものです。審議の主な内容については「結果概要」、詳細については「議事録」を参照下さい。